

# シマノトリコロール報告書

— 持続可能な世界への貢献に向けて

[活動期間 2022.1.1–12.31]



**SHIMANO**



## 持続可能な世界へ

現在、社会の大きなテーマとなっているSDGs。当社では、その目標のうちとくに「働きがいも経済成長も」「つくる責任つかう責任」「気候変動に具体的な対策を」の3つに対して重点的に取り組んでいます。また、100周年を機に、人と自然をキーワードに、環境・社会・文化というテーマに沿った活動——シマノトリコロールプロジェクトがスタートしました。

当報告書ではそうした私たちの活動を、

I. 持続可能な世界への貢献——SDGsに関わるシマノの取り組み

II. 企業文化の醸成——Closer to Nature, Closer to People

の2部構成でご紹介しています。

当社の存在意義、実現していきたい世界の一端を知っていただければと考えています。



創業100周年を機に、当社の使命を象徴するトリコロールラインをあしらったコーポレートブランドロゴを新たに制定し、トリコロールプロジェクトがスタートしました。トリコロールラインは、「大地・空・海」を表し、当社の事業領域や目指している世界観を表しています。

## シマノトリコロール報告書 発刊にあたって



はじめに .....	03
シマノトリコロール報告書 発刊にあたって .....	05
I 持続可能な世界への貢献 — SDGsに関わるシマノの取り組み .....	06
健やかに働ける職場づくり .....	08
1.人材育成の様々な取り組み	
2.労働安全衛生	
開発型デジタル製造業として .....	14
1.イノベーティブな製品開発	
2.デジタルトランスフォーメーションの推進	
3.より効率的なものづくりで新たな価値の創造を シマノシンガポール新工場の設立	
地球環境への積極的な取り組み .....	18
1.CO <sub>2</sub> 排出量の把握と気候変動への対応	
2.使い捨てプラスチックの削減、資源の循環利用	
3.電熱式真空浸炭炉などエネルギー効率の良い設備の導入	
4.環境保全 シマノグリーンプラン	
自転車通勤の推進 .....	26
II 企業文化の醸成 — Closer to Nature, Closer to People .....	28
自転車文化・釣り文化の創造 .....	30
1.イベント開催・サポート活動	
2.文化発信拠点	
3.その他文化創造活動	
4.文化発信メディア	
躍動する人材 .....	48
1.社内大学プロジェクト「SHIMANO CAMPUS」始動	
2.Learning Team Shimano Program 海外拠点向け次世代リーダー研修	
地域社会への貢献 .....	52
シマノトリコロール報告書を読んで .....	56
株式会社シマノ 会社概要 .....	58

私どもは1921年に創業者・島野庄三郎が堺に小さな鉄工所を興して以来、地道に様々な技術革新を重ねながら百余年に亘り事業を継続してまいりました。これもひとえに皆さま方のご支援・ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの収束を見通せない状況が続きましたが、人々の活動・交流が本格再開に向けて始動した年でもありました。健康的な生活への渴望、世界各国で進む気候変動への対応などに伴い、健康・環境に対する関心や社会的気運の高まりはとどまるところがありません。そのような中、私どもがこれまで取り組んできた社会活動を今後も継続・発展させ、当社の使命に根差して持続可能な社会に貢献していくという新たな決意を込め、これまで発行してきた社会活動報告書を、このたび名称も新たに『シマノトリコロール報告書』として、皆さまにお届け申し上げます。

「シマノトリコロール」は当社コーポレートブランドロゴにある3色ラインです。ライトグリーンは大地を、ブルーは空を、そしてディープブルーは海を意味し、私どもの事業領域や目指している世界観を色で表現しています。

これからも「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」という当社の使命に則り、こころ躍る製品と健康的なライフスタイルをお客様にお届けすると共に、豊かな自転車文化・釣り文化を創造すべく、環境に配慮したものづくりや地域貢献活動を積極的に進め、持続可能な社会に向けて努力してまいる所存です。

この報告書が私どもをご理解いただく一助となれば幸いです。

代表取締役社長

島野泰三

# I

## 持続可能な世界への貢献

### — SDGs に関するシマノの取り組み

当社は自らの使命に則り様々な活動を展開しています。

企業としての社会的責任を果たしていく地道な活動もそのひとつであり、

それは「持続可能な開発目標 SDGs」への取り組みでもあります。

SDGs のうち、当社の事業や活動方針に沿ったゴールとして、

とくに「働きがいも経済成長も」「つくる責任つかう責任」「気候変動に具体的な対策を」

という3つの目標に対して重点的に取り組んでいます。

ここでは、SDGs に関するシマノの2022年の活動を中心にご紹介します。



⑧働きがいも経済成長も



⑫つくる責任つかう責任



⑬気候変動に具体的な対策を



写真:プレイスメディア

### ■ 健やかに働く職場づくり ..... 08

人材育成の様々なプログラム、いきいきと働ける職場づくり、労働安全衛生など、当社の「人」に関わる取り組みをご紹介します。



### ■ 開発型デジタル製造業として ..... 14

シマノでは、研究開発、製造システム、そして製品そのものにもデジタル技術を駆使しています。今回は、イノベータイプな「こころ躍る製品」の開発、「開発型デジタル製造業」を目指した活動、より効率的な製造システムを備えるシマノシンガポール新工場をご紹介します。



### ■ 地球環境への積極的な取り組み ..... 18

シマノ製品をお使いいただくフィールドである地球環境への配慮は、当社の重要な課題です。CO<sub>2</sub>排出量の削減、使い捨てプラスチックの削減、電熱式真空浸炭炉などエネルギー効率の良い設備の導入、環境保全のための活動。当社が取り組んでいる持続可能な環境配慮に関する活動についてご紹介します。



### ■ 自転車通勤の推進 ..... 26

シマノでは、自転車通勤を推進しています。電車の混雑や交通渋滞に遭うことがなく、健康にも良い上、数年来のコロナ禍への対応策のひとつとしても見直されています。シマノ本社自転車通勤制度を中心にその取り組みをご紹介します。



## ■ 健やかに働ける職場づくり

### 1. 人材育成の様々な取り組み

シマノでは、各国の研修において企業理念やものづくり思想、企业文化のさらなる浸透に力を入れています。2022年も、世界中の拠点で個人能力の向上やチームワークの強化を目的に様々な取り組みを実施しました。実践的な知識・業務能力を向上させるコンテンツだけではなく、現在、そして未来にも変わらず求められるシマノスピリットの本質を学ぶことで、世界中に広がるチームシマノメンバー共通の企業理解とチームシマノの結束の強化を図りました。

#### ■ 個人・組織能力の向上を目指して

##### 階層別研修 [日本]

シマノ本社は毎年、年次・階層別の研修を行っています。新入社員研修では、社会人としての自覚を促し、会社についての理解を深めます。2年目では自身の仕事を振り返り、3年目での独り立ちを目指して目標を設定。3年目研修では自身の自立度を振り返り、今後のキャリアイメージを描き、シマノで成し遂げたい目標を設定します。また、階層別では職位が上がるタイミングで必要な視座を身に着けるための実践的な研修を実施しています。

##### 通信教育 [日本]

シマノ本社は、社員が自発的に学ぶことができる通信教育制度の充実を図っています。語学研修に加え、業務に関連する技能や社会人として推奨される知識に関する検定など、幅広く扱っています。また、これらの受講費用を会社が補助し、社員の知識向上を支えています。

##### 英語学習コース [トルコ] 2020年スタート

シマノトルコは、グローバルに広がるシマノ拠点とのコミュニケーション能力を高めるため、週2回のオンライン英語講座を実施しています。

##### 自己理解トレーニングプログラム [イギリス] 2021年スタート

シマノUKは、社員が自己の長所と短所をよく理解し、コミュニケーションを効果的に行う能力を開発し、職場環境により良く対応することを手助けするプログラムを実施しています。



##### 営業リーダー研修 [中国] 2012年スタート

シマノ上海は、営業担当のリーダーを対象に、能力研修を実施しています。社員や各部門の研修ニーズ調査に基づいて、この研修の3年間のテーマを決定しています。この研修を通じて、リーダーシップ、コミュニケーション、セールス、イノベーションなど、社員のビジネススキルおよび個人の能力を高めます。



##### マネジメント・コンピテンシー研修 [中国] 2012年スタート

シマノ上海は、年2回、係長以上を対象に、業務知識・スキルだけでなく、マネジメント手法やマネジメント思考の向上など、継続的に能力を高め、チームシマノにとって価値ある成果を創出するためのコンピテンシー研修を実施しています。

##### クロストレーニングプログラム [アメリカ] 2017年スタート

Innovative Textiles, Inc.は、社員がジョブローテーションで様々な部署を経験し、新たなスキルを学ぶ機会を提供しており、社員の働くよろこびの向上につながっています。

##### 永年勤続者表彰 [中国] 2014年スタート

シマノ昆山は、社員の永年の勤続と努力、会社への貢献に感謝し、対象となる社員に褒賞を授与しています。2022年は、195人が受賞しました。



**学生のインターンシップ・プログラム [アメリカ]**  
2014年スタート

Innovative Textiles, Inc.は、コロラド・メサ大学と提携し、人事、工学、情報技術、会計・財務を専攻する学生を対象にインターンシップ・プログラムを提供しています。



**学生の会社・工場見学プログラム [アメリカ]**  
2014年スタート

Innovative Textiles, Inc.は、コロラド・メサ大学とのパートナーシップを強化するため、学生を会社訪問や工場見学に招待しています。



**奨学金プログラム [マレーシア] 2019年スタート**

シマノマレーシアは、選定された大学の学士課程を履修する優秀な学生を支援するため、奨学金プログラムを設立、運営しています。



**インターンシップ・サイクリング・プログラム [シンガポール]**  
2017年スタート

シマノシンガポールは、年に1~2回、インターンシップ・サイクリング・プログラムを実施しています。学生にシマノに興味を持ってもらうだけではなく、自転車のコンポーネンツに関する知識を深め、スポーツとしてのサイクリングをより理解してもらうことを目的としています。



**■ いきいきと働く職場を目指して**

**シマノドリンキング [日本]**

1978年に発足した社内サイクリングクラブ。社員自ら自転車レースを楽しむのはもちろんのこと、その体験をものづくりや販売の現場に落とし込み、新たな製品提案につなげるという重要な役割を担っています。



**クラブ活動の充実 [日本]**

野球部、フットサル部、華道部、着付けクラブ、ソフトボール部、釣り部などが定期的に活動しています。部署や世代を超えた社員同士の交流の場として、心身ともに健やかに働く職場づくりの一翼を担っています。

**健康セミナー [日本]**

社内の健康管理室カウンセラーによる講座を実施しています。ストレスは、自分にとって悪い変化だけではなく、実は良い変化でも起こります。ストレスとの上手な向き合い方を学ぶことで、日々の暮らしや職場でイキイキと過ごすヒントを提供します。

**周年記念 社員釣りイベント [中国]**

シマノ昆山(自転車部品)30周年とシマノ昆山(釣具)20周年を記念した釣り大会を開催し、社員の余暇充実と、釣り文化の推進を図りました。



**ランニングイベント [中国] 2022年スタート**

シマノ天津は、「太陽に向かって走ろう、幸せに向かって走ろう」をテーマに社員のランニングイベントを実施しました。運動により心身を健康にすることは“Closer to Nature, Closer to People”というシマノのタグラインに通じ、新型コロナなどの感染症とも戦える体調管理につながります。



## 2. 労働安全衛生

シマノ本社工場では2018年から工場現場の安全特化型プロジェクト(名称:守破離プロジェクト)を開始し、安全で衛生的な職場を会社として整えられるよう取り組んでまいりました。現在は、「安全な職場づくり」と「安全な人づくり」の双方から活動を行っています。現場の主な活動の1つとして、作業要領書を作成し、すべての作業者が作業要領書に則った方法・手順で作業ができるように作業教育を行います。また、社員の安全意識の醸成を行い、リスク感度の高い行動や改善活動を行う人づくりを推進しています。

2020年からは下関工場でも同プロジェクトをスタートし、作業標準の整備や安全意識の醸成を着実に進めています。日本国内での活動を充実させるとともに、2022年からはシマノマレーシアで活動を開始し、さらに海外拠点への展開も進めています。安全で衛生的な環境の整備と安全な人づくりの両輪を動かし、シマノに関わる皆様の安全を守るために、今後も取り組みを強化・継続していきます。

### BISH (Basic Industrial Safety & Health Incident Control) [インドネシア]

2022年スタート

シマノバタムは、安全委員会および役員以上の参加者を対象としたトレーニングを実施しています。安全衛生における監督者の役割と責任について理解を深め、労働安全衛生上の危険とその管理方法を習得することを目的としています。



### 避難訓練 [インドネシア] 2012年スタート

シマノバタムは、火災避難訓練を毎年実施しています。火災に備えるためだけではなく、重大事故や自然災害など、あらゆる緊急事態が発生した場合に、いかに迅速かつ安全に避難することができるかを訓練しています。



### 緊急避難訓練、防災・防火訓練 [カンボジア]

2022年スタート

シマノカンボジアは、513名の社員が参加して緊急避難訓練と防災・防火訓練を実施しました。この訓練は、社内の緊急対応チーム、安全委員会、および地元消防署のトレーナーが参加して実施しました。社員は消火器と消火ホースの仕組みと使用法を学び、職場から安全な場所に避難し、集合場所まで5分以内に到着する手順を理解しました。



### AED (自動体外式除細動器) 講習 [日本] 2017年スタート

シマノセールスは、社員の安全衛生意識の向上を目的として、AED講習会を開催しました。看護師や救命士の方を講師としてお招きし、AEDの使用方法や救命措置の手順について実技を中心で学習します。講習会は防火防災組織の救命措置担当及び受講を希望する社員を対象に実施し、より多くの人が知識を習得する環境を構築します。それによりシマノセールスの安全衛生体制強化に繋げます。

### ■ 社員の働きやすい環境

「達成感と、よろこびを分かち合える、公正でいきいきとした職場づくりに努める」との経営方針から、社員の働きやすい環境づくりを素々と進めています。社員ごとの多様な働き方のニーズに応え、ワークライフバランスの実現に努めています。シマノ本社は、2022年4月に“時間”や“場所”にとらわれず、柔軟な働き方ができるよう時差勤務の拡充、1時間単位の年次有給休暇制度や在宅勤務制度を導入しました。

### ■ 取引先様との関係における人権への配慮

取引先様との対等なパートナーシップは当然のことながら、企業市民として共に支えあい、よろこびを分かち合える関係構築が「こころ躍る製品」の提供の源泉になると想っています。2021年に「ベンダー行動規範」を改訂し、国内外の取引先様に対し当規範の賛同と理解を得るための取り組みを進め、当社製品のサプライヤー様の約96%から当規範を遵守する旨の合意書を取得済みです。また、取引先様が、当規範を遵守していることをモニタリングするための態勢整備(自己調査票を利用した書面評価、実地監査・訪問評価等)を進めています。



## ■ 開発型デジタル製造業として



### 1. イノベーティブな製品開発

#### ■ 『Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター2022』アワード受賞

シマノは知的財産分野に関する功績が高く評価され、グローバルな情報サービス企業であるClarivate社(本社:米国フィラデルフィア)が選定する『Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター2022』アワードを受賞しました。シマノでは発明の初期段階から、開発部門と知的財産部門が密に連携し、新たな価値の創造に取り組んでいます。

『Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター』とは



このアワードは、Clarivate社が保有する世界最大級の付加価値特許データベース「Derwent World Patents Index (DWPI)」や特許調査・分析プラットフォーム「Derwent Innovation」などから抽出された厳格かつ客観的なデータから、独自の評価基準に基づき、革新的であること、知的財産権保護に積極的であること、また、世界に影響を及ぼすような発明をもたらしたことが認められた企業に贈られます。評価は2つのステップに沿って実施されます。ステップ1では「数量」、ステップ2では「影響力」「成功率」「グローバル性」「技術分野の広さ」の4つを軸に評価が行われます。

#### ■ ロードバイクコンポーネンツ SHIMANO 105 R7100シリーズ

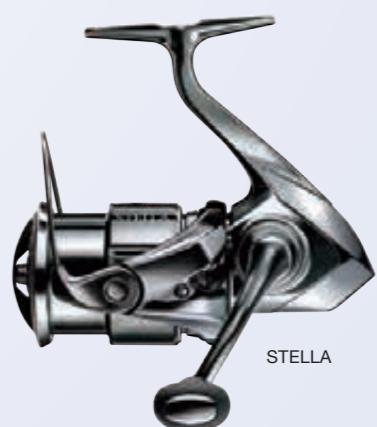
「IT'S A NEW DAY(新しい一日)」をコンセプトに、幅広いユーザー様の多様なライディングスタイルに寄り添った製品です。電動変速システムの採用、コンパクトなレバーにより、手への負担が少なく快適な変速やライディングを提供します。また、急な上り坂にも対応したギア比が選択でき、ブレーキシステムもユーザー様は思い通りにスピードコントロールできる安心感を味わうことができます。SHIMANO 105 R7100シリーズは、これまで機械式のコンポーネンツをご利用のユーザー様にも、より感動的なロードサイクリングを体験していただける製品です。



SHIMANO 105  
R7100シリーズ

#### ■ スピニングリール STELLA

シマノの最高峰スピニングリール。全世界の釣りを愛する人々のために、「巻く」「投げる」というリールの二大基本要素の改善に真摯に向き合い、スペック的な向上だけでなく、人間の感性にも訴えかける性能を追求。「人と自然との共鳴をもたらす存在」を目指し、凛とした存在感を持たせながら、普遍的で味わい深いデザインに仕上げました。



STELLA

## 2. デジタルトランスフォーメーションの推進

現在、世界中で従来の労働集約型からオートメーション化、デジタルデータ、AIなどの活用へと舵を切り、「第四次産業革命」と称される時代になりました。こうした新時代のものづくりの中で、シマノは知識集約型企業へ生まれ変わり、「開発型デジタル製造業」となるべく、様々な改革を実行しています。SDM (Shimano Digital Manufacturing) の名の下に、徹底的にデジタル化・オートメーション化し、ものづくりのスピードと効率の向上に取り組んでいます。そして生まれた時間を、人間の感性という、完全にはデジタルに置き換えられない本質的な価値の追求に充て、五感に訴える魅力を備えた「こころ躍る製品」を提供し続けることを目指します。また、2022年にはSDA (Shimano Digital Administration) 推進本部を発足し、業務の効率化や働きやすい環境づくりを通して社員を支えるサポート部門(人事・総務・経理・コーポレートガバナンス等)の改革を強化。全部門が一枚岩となって、「開発型デジタル製造業」を目指します。



## 3. より効率的なものづくりで新たな価値の創造を シマノシンガポール新工場の設立

2022年より、シマノシンガポールの新たな工場 Shimano Singapore Intelligent Plant が稼働しました。工場空間として効率性を高めるために、最大限フラットな空間レイアウトにし、地下には製造工程で排出されたチップを自動回収する設備や金型工場なども配置しています。また、生産オフィスから工場内が一望できる窓を設置し、いつでも工場フロアの状況を察知できるようになっています。さらに、IIoT<sup>\*1</sup>による可視化で工場全体の生産管理やエネルギーのモニタリング、ビル管理なども一元化しています。ロジスティクスでは、旧工場よりも容量を大幅に拡大し、ロジスティクスハブとしての機能を強化しています。製造フロアの屋上にあるビオトープには、シンガポールの気候に適した数十種類もの多様な植物を選定し調和よく混植して配置。また、製造フロアでのエネルギー効率の最適化や、全照明のLED化などを行うことによって、エネルギー消費は旧工場と比較して減少しました。建物の素材では、認定を受けた



低VOC<sup>\*2</sup>排出材料を選択し、健康面でも安全な環境を実現するとともに、サステナブルな建築工法を採用し、カーボンフットプリント<sup>\*3</sup>を低減しています。この他にも様々な活動を行うことで、グリーンプラントを実現しています。

\*1: Industrial Internet of Things の略。製造業におけるIoT  
\*2: Volatile Organic Compounds の略。揮発性有機化合物  
\*3: 商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算して見える化する仕組み



## ■ 地球環境への積極的な取り組み

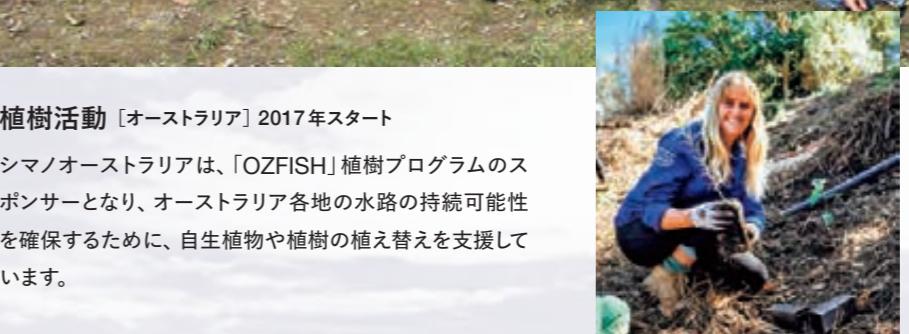
### 1.CO<sub>2</sub> 排出量の把握と気候変動への対応

当社製品を楽しんでいただくため、そのフィールドである地球環境の改善と保全は、重要な課題です。美しく良好な地球環境づくりに貢献するために、シマノグループによる継続的な環境負荷低減活動が必要と考えています。持続可能な社会づくりに寄与する活動は、同時にシマノグループの競争力を高めることにもつながると考え、積極的に推進しています。気候変動がもたらす当社事業活動へのリスクや機会を把握すること、また開発型デジタル製造業としてのづくりに対する責任を持ち資源循環を進め、持続可能な社会の実現に貢献するため次の活動を進めています。

#### ■ 気候変動への対応

高効率で無駄のないものづくりの体制を構築し、エネルギー使用量を削減したうえで、再生可能エネルギーへの転換も進めることで、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めています。

- ・高効率生産と省エネを実現するシマノシンガポール新工場の建設
- ・化石燃料を熱源とする設備から電気設備への切替
- ・海外の一部工場での再生可能エネルギー証書の購入
- ・2021年夏に始めた再生可能エネルギー由来の電力購入は2022年も継続し、国内の製造拠点で使用する電力のうち99%を再生可能エネルギー由来の電力でカバー



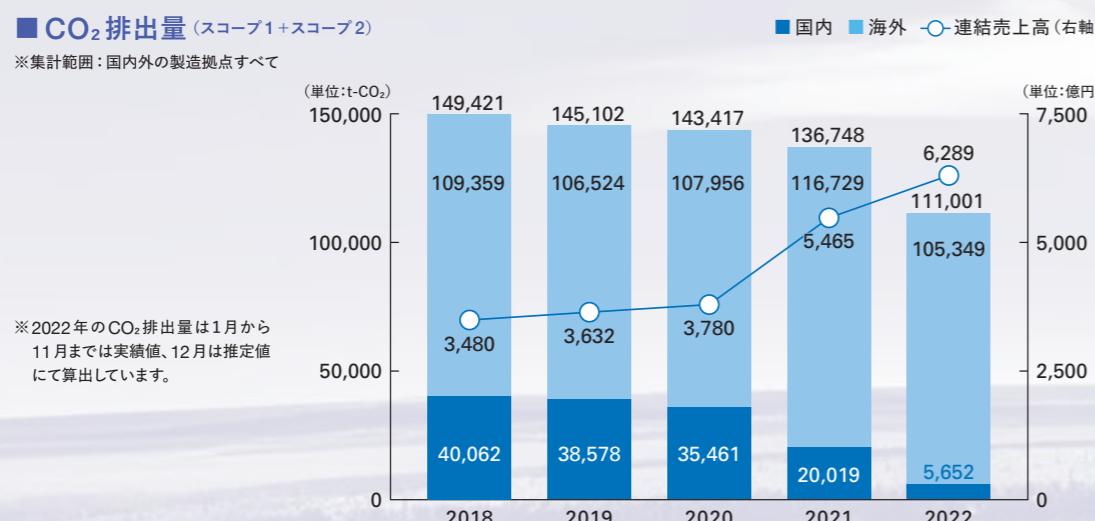
#### 植樹活動 [オーストラリア] 2017年スタート

シマノオーストラリアは、「OZFISH」植樹プログラムのスポンサーとなり、オーストラリア各地の水路の持続可能性を確保するために、自生植物や植樹の植え替えを支援しています。



#### 苗木の植樹活動 [台湾] 2019年スタート

シマノ台湾は、苗木を植える活動を行いました。社員とその家族が、NPO法人が主催する植樹活動に参加し、健全な自然環境の保全に貢献しています。



#### 空調温度管理 [日本] 2017年スタート

シマノセールスは、敷地内の空調機器において過剰な冷暖房の温度設定を見直して、CO<sub>2</sub>発生の抑制を図っています。社員にも温度設定の意義と重要性の周知を行い、社屋全体の省エネ活動の拡大を進めています。

## 2. 使い捨てプラスチックの削減、資源の循環利用

### 物流で使用するプラスチックのリサイクルの仕組みづくり [日本]

2018年スタート

シマノは、樹脂パレット・コンテナ・ストレッチフィルム<sup>\*1</sup>等の流通で使用した後に廃棄されるプラスチックのリサイクル活動を積極的に行ってています。

シマノ下関工場では2018年より樹脂パレット・容器の廃棄量ゼロを達成しています。近隣の業者様に有価物<sup>\*2</sup>として引き渡し、リサイクルをお願いしています。堺のシマノ本社・シマノセールスでは樹脂パレットを近隣の業者様に有価物として引き渡し、リユースいただくことで廃棄量の削減を行っています。

また、ストレッチフィルムについても、本社近くの協力会社様で分別されたものを有価物としてリサイクル業者様に引き取っていただいている。今後もストレッチフィルムの廃棄削減を目指し、より一層のリサイクルを推進していきます。

\*1: パレットに積んだ荷物を固定するために巻かれるプラスチックフィルム

\*2: 不要になったが、経済上の価値がまだ残っている物



### ホイールパッケージ見直しによる梱包用プラスチック削減と輸送効率向上 [マレーシア] 2022年スタート

シマノマレーシアで生産している自転車部品DURA-ACEとSHIMANO ULTEGRAのホイールは、従来は長方形の段ボールに入れたのちプラスチック製の輸送用ポリ袋を用いて梱包していましたが、段ボール形状の見直しを行うことで、輸送用袋の廃止を達成することができました。また今回の活動によって、パレット積載量の向上や梱包リードタイムの削減といった付加価値も生まれています。



### 自動車のエアバッグからつくられた シマノ REVO ショーツ

シマノREVOショーツは、廃車になった自動車から回収したエアバッグとリサイクルポリエステルを使用したマウンテンバイク用ショートパンツです。スポーツウェアとしての快適性を持ちながら、エアバッグ素材を使用しているため、非常に耐久性があり、まさにトレイルでのライドに最適なものです。REVOショーツはサステナビリティ、デザイン性、機能性などが評価され、世界的有名なデザイン賞であるiF DESIGN AWARD 2022(プロダクト-スポーツ/アウトドア/自転車部門)を受賞しました。



### オフィスで使用するコーヒーカップセルのリサイクル [台湾] 2022年スタート

シマノ台湾は、コーヒーカップセルのリサイクルを開始しました。1日に約12個のアルミニウム製コーヒーカップセルを使用しています。アルミニウムは100%リサイクル可能で、さまざまな形に再生することができるため、自転車、ナイフ、ピーラー、脚立、窓枠など日用品に生まれ変わります。



### Say no to plastic キャンペーン [カンボジア] 2022年スタート

シマノカンボジアは、「Say no to plastic」をテーマにした環境保護キャンペーンに参加し、シマノカンボジアが面する国道沿いの廃棄プラスチックの清掃を行いました。2時間で約500kgの廃プラスチックを回収しました。



### 輸送用パレットのリサイクル [アメリカ] 2022年スタート

Innovative Textiles, Inc.は、地元の企業と提携し、古い輸送用パレットのリサイクルを行っています。使用できなくなつたパレットは回収され、木材として再生利用されます。

### ペットボトル使用量の削減 [アメリカ] 2022年スタート

Innovative Textiles, Inc.は、社員が使用するペットボトルの数を減らすため、施設内に給水ステーションを3か所設置しました。これにより、社員は水筒に補充することができ、各ステーションに設置されたカウンターで削減できたペットボトルの数が目に見える仕組みになっています。

### 3. 電熱式真空浸炭炉などエネルギー効率の良い設備の導入

#### 電熱式真空浸炭炉の導入

本社工場 (Sakai Intelligent Plant) では、2012年から、鋼材の熱処理工程で使用する「電熱式真空浸炭炉」導入による積極的な設備投資を行ったことにより、従来のガス浸炭炉と比較して生産効率を約1.6倍向上し、またCO<sub>2</sub>排出量を約1/3に削減することができました。同様の設備は下関工場をはじめ、東南アジアの地域統括拠点であるシマノシンガポールにも導入し、各工場への展開も進めています。さらに、国内の製造拠点では2021年から再生可能エネルギー由來の電力を導入し、事業活動で使用する電力のうち99%が再生可能エネルギー由來の電力で賄うことができるようになり、2022年もこれを継続しました。さらに海外の一部工場では再生可能エネルギー証書を購入するなど、ものづくりにおけるCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みを進めています。

#### サステナビリティに関する講習への派遣 [シンガポール] 2022年スタート

シマノシンガポールは、生産に係るエネルギー効率の向上を図るために、関連する社員を再生可能エネルギーや製造工場の省エネルギーに関する講習会に派遣し、知見を深めています。



シマノ本社工場 (大阪府堺市)



シマノ昆山 (中国・昆山市)



シマノチェコ (チェコ・Karvina)



シマノ下関工場 (山口県下関市)  
写真:プレイスメディア



シマノシンガポール (シンガポール・Bulim Walk)

## 4. 環境保全

### 釣り人のごみ投棄撲滅キャンペーン [イギリス]

2022年スタート

シマノUKは、「Anglers Against Litter」キャンペーンのスポンサー企業となりました。このパートナーシップにより、シマノはAngling Trust<sup>\*1</sup>と協力して、アングラーにごみ対策への支援を呼びかけ、ごみ拾いを実施できるようにリソースを提供し、「Take 5<sup>\*2</sup>」企画への賛同を呼びかけました。

\*1: 釣り人の権利保護、魚の保護、生息地の保全などを行う非営利組織

\*2: 釣り場でごみを5点拾う、または5分間かけてごみを集め適切に処分する活動



### 海岸林の整備 [台湾] 2019年スタート

PRO台湾とシマノ台湾は共同で、海岸林の整備と地球環境保全のための植林を行っています。



### 印刷物の削減 [中国] 2016年スタート

シマノ上海は、日常業務における印刷物の削減を推奨しており、印刷物のゼロ化やカタログ・マニュアル類の電子化などを積極的に計画・実行しています。オンラインプラットフォームを利用して、これらの資料をデジタル形式でダウンロードする仕組みを利用し、環境保護に努めています。



### 湖畔の清掃活動 [ポーランド] 2022年スタート

シマノポーランド社員とその家族は、湖畔の清掃を行い、約1時間で38袋(約120リットル)のごみを回収しました。



## シマノグリーンプラン

[グローバル] 2004年スタート

2004年以来、環境負荷・健康負荷の低い製品づくりを行うための指針として、シマノグリーンプラン(以下、SGP)を策定し、協力会社様と協働してその遵守に取り組んでいます。

### ■ 環境負荷・健康負荷の低減

SGPは、当社製品を構成する原材料・部品・製品に含まれる化学物質の規制値を明確にし、協力会社様にも周知徹底することで、環境負荷・健康負荷のより少ない製品と安心を世界中のお客様にお届けすることを目的とした調達基準です。年々厳しくなる国内外の法規制や顧客要求に応じてSGPを改訂し、協力会社様へ理解と協力を要請するとともに、社内の分析機器や外部分析機関の活用により製品の適合確認を行い、お客様に信頼される製品づくりを進めています。



### ■ 法規制遵守への取り組み

2022年も法規制への対応に向けて取り組みを進めてきました。

- ・新たな法規制を取り入れたSGP改訂版の発行準備
- ・国内および海外SGPコミティーメンバーと情報共有し、連携して対応



海外SGPコミティーメンバーとのオンライン会議の様子

### ■ 化学物質問い合わせ対応

環境や健康への意識の高まりとともに、EUのREACH規則<sup>\*1</sup>、POPs規則<sup>\*2</sup>、RoHS指令<sup>\*3</sup>などの各国法規制の遵守や、お客様である完成車メーカー様の自主基準への適合を要求されることも増えています。当社では、お客様からの各種問い合わせを受け付け、SGP遵守状況と照合し、その結果を回答文書や適合宣言書にまとめ提供しています。また、EUでの高懸念物質の登録・公開制度に沿った情報開示を実施しています。

\*1: 化学品の登録、評価、認可及び制限に関する規則

\*2: 残留性有機汚染物質に関する規則

\*3: 電子機器における特定有害物質の使用制限に関する指令

### ■ 企業価値を高める活動へ

要求が複雑化する法規制に迅速に対応するためには、これまで蓄積した情報を短時間で的確に抽出することが不可欠と考えています。事務的負荷軽減を含め、システム導入による効率的な情報コミュニケーションの実現に向けた活動に取り組んでいます。今後もサプライチェーンにおける製品含有化学物質管理を強化し、環境や健康に配慮した製品づくりを継続して推し進め、企業価値の向上を目指します。

## ■ 自転車通勤の推進

シマノでは、自転車通勤を積極的にサポートしています。電車の混雑や交通渋滞を避けられ、環境・健康にも良いとされる自転車での通勤は、年々その価値が高まっていると考えます。

### <取り組み事例>

- **自転車通勤をする社員が職場で快適に過ごせるように考えられた設備**

本社厚生棟には、自転車通勤者のために約550台が収容できる駐輪場が整っています。浴場をはじめシャワーブース、ロッカールームを完備。また、コンプレッサー式空気入れや共用工具も備え、自転車のメンテナンスもしやすい環境になっています。

### ● 約4割が自転車通勤

堺の本社では、約4割の社員が自転車通勤の登録をしています。

### ● 自転車通勤手当の支給

自転車通勤を奨励するため、ヘルメット着用者には月5,000円の手当を支給しています。

### ● ヘルメット購入補助金の支給

自転車通勤用のヘルメットの購入代金に応じて一定の補助金を支給しています。

### ● 社内自転車講習の実施

希望する社員を対象に、自転車の種類や特徴、自分に合った自転車の選び方などについて学べる講座を実施しています。



### 「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクト 「優良企業」に認定

国土交通省が実施している「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクトでは、自転車通勤を積極的に推進する企業・団体を「宣言企業」として認定しています。2022年5月、その中でも特に優れた取り組みを実施しているとして、株式会社シマノは「優良企業」に認定されました。

今後も自転車部品を製造する企業として、自転車文化の向上を目指す活動に注力しながら、地球環境保全や皆様の健康に役立てる自転車の活用推進も着実に行っていきます。



### 自転車通勤プログラム [チェコ] 2010年スタート

シマノチェコは、継続的にGo to Work by Bikeという国をあげてのプログラムに参加しています。2022年、シマノチェコからは11チームが参加し、合計で7,320kmを自転車通勤し、CO<sub>2</sub>排出量を抑えることに貢献しました。



### モビリティ・ハブ [イタリア] 2021年スタート

シマノイタリアは、モビリティ・ハブ\*を設けることで、企業のモビリティ活用を促進しています。これは、自転車通勤を選択する社員、パートナー企業などを支援し、シマノの企業理念に沿った社会へのポジティブな影響を生み出すためのものです。

\*自転車通勤をサポートするためのスペース



### モビリティ・ハブ [スペイン] 2022年スタート

シマノイベリアは、都市部での持続可能な移動手段としての自転車の利用を促進するため、社内にモビリティ・ハブを設置しました。



# II

## 企业文化の醸成

— Closer to Nature, Closer to People —

人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。

私たちはこの使命のもと、当社の事業領域に則りシマノならではの活動を開催しています。

その活動の中心となっているのが「企业文化の醸成」です。

とくに、自転車文化・釣り文化の創造については長年にわたり取り組んできたテーマであり、

ますます広がりを見せています。

また、シマノならではの躍動するひとづくりは、これから企業を創造していくものと考えています。

さらに、地域社会への積極的で地道な貢献もまた、

シマノの企业文化を育んでいく上で欠かせないものと考えています。

### ■ 自転車文化・釣り文化の創造 ..... 30

人々に自転車・釣り・ロウイングの楽しさをこころから感じていただける製品——それが「こころ躍る製品」です。そして、その楽しさをより多くの人々に伝え、その機会を提供していくことも、当社の重要な活動の一つです。当社が主催・協賛している様々な自転車・釣り・ロウイングのイベントは、人々の楽しみの場であるとともに、交流の場にもなるものとして大切にしています。

ここでは、シマノが価値創造企業として取り組んでいる文化創造活動について、①イベント開催・サポート活動  
②文化発信拠点 ③その他文化活動 ④文化発信メディアに分けてご紹介します。

### ■ 跳動する人材 ..... 48

社員一人ひとりの在り方は、企业文化に大きく関わり、企業の未来を形づくっていくといつても過言ではありません。シマノでは、社員としての基本的な在り方を伝える社員教育だけではなく、企业文化の醸成に向けて、社員自身の自発的・能動的な学びの場と機会をつくりています。その代表的なものとして、社内大学「SHIMANO CAMPUS」と、シマノ独自のリーダーシップを育むLTSP (Learning Team Shimano Program) があります。この二つの具体的な活動をご紹介します。

### ■ 地域社会への貢献 ..... 52

地域社会とのコミュニケーションを密にし、企業市民として共存・共栄を図ることは、当社の理想とする企業姿勢です。シマノでは企业文化の醸成という視点から“Closer to Nature, Closer to People”というタグラインに適う活動として日本はもとより世界各地に拠点を置く地域社会の一員として取り組んでいます。全世界に広がるチームシマノの拠点は、より深い信頼を育んでいくための活動を継続して行っています。



## ■ 自転車文化・釣り文化の創造

### 1. イベント開催・サポート活動

国際的なプロレースからローカルのアマチュアレースまで、世界で開催されている自転車競技やイベント。釣法や道具の進化で新たな楽しみが広がっていく釣り最前線のフィールド。シマノはそれらの現場を支え、後押しする継続的な活動を通じて、自転車文化・釣り文化の振興と社会的価値の向上に努めています。

#### A.S.O.主催レースのニュートラルサポートパートナーとして

2021年より、シマノはA.S.O.\*が主催する自転車レースのニュートラルサポートパートナーとして活動しています。ニュートラルサポートの主な役割は、機材を積んだ自動車でレースに帯同し、レース中に発生した選手のあらゆる機材トラブルに対応することで、全ての選手が一刻も早くレースに復帰するサポートを行います。シマノは長年にわたるニュートラルサポートの経験とノウハウを活かし、これまで以上に自転車レースへ貢献するとともに、シマノブランドへのさらなる信頼感の醸成につなげていきます。

\*Amaury Sport Organisation : ツール・ド・フランスをはじめ、世界的なスポーツ大会の主催を行うフランスのスポーツメディアグループ



## シマノ鈴鹿ロード

シマノは2022年8月20日(土)・21日(日)、三重県鈴鹿サーキットを舞台に、初心者から上級者まで誰もが楽しめる「ロードレースの祭典」を開催しました。今回はリアルと同時に、どこからでもオンラインで大会に参加することができる「バーチャルシマノ鈴鹿ロード」も開催。さらにYouTubeでの生配信を2日間の全レース種目に拡大するなど、新たな取り組みを実施しました。また、JCF\*公認レースである

\*Japan Cycling Federation：日本国内の自転車競技を統括するとともに、自転車競技の普及および競技大会開催などを実施している公益財団法人

「シマノ鈴鹿ロードレースクラシック」も行われ、ハイレベルな熱戦を間近で体感いただきました。協賛社様ブースも好評を博し、スポーツバイクファンの皆様に新製品などを知っていただく機会となりました。2日間で延べ6,449名の参加者を迎える活気溢れる会場では、スポーツサイクルを楽しむ皆さんの笑顔が輝き、コロナ禍による中止を乗り越えた3年ぶりの開催のよろこびもひとしおでした。

## バーチャルシマノ鈴鹿ロード

実写映像でインドアサイクリングを楽しむことができるサービス「ROUVY(ルービー)」を使用し、シマノ鈴鹿ロードのコースをバーチャル空間に完全再現。一部、海外からの参加もありました。「現地でのイベントに参加できなかったが、オンラインで参加することができてありがとうございました」といった反響がありました。



## シマノ・バイカーズフェスティバル

シマノは2022年7月30日(土)・31日(日)に、長野県富士見パノラマリゾートにて第30回「シマノ・バイカーズフェスティバル」を開催しました。南アルプスと八ヶ岳連峰に囲まれた豊かな自然のもと、クロスカントリーやダウンヒルなどのオフロードレースからトレイルライドやロングライドなどのツーリング種目まで、様々なスポーツバイクの楽しみ方を提供する、日本最大級のマウンテンバイクの祭典です。当日は100名以上の社員がスタッフとして現地に赴きました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う2年連続の中止を乗り越え、

感染対策の徹底はもとより、さらに多くの方に楽しんでいただけるよう、それぞれの企画に磨きをかけてパワーアップしての再開となりました。2日間で延べ1,467名の参加者を迎え、晴れ渡った夏空のもと、ライドの醍醐味を存分に味わっている皆さんの笑顔は、3年ぶりの開催をともに祝ってくださっているかのようでした。

## SHIMANO FEST 2022

ブラジルのサンパウロでSHIMANO FEST 2022が開催されました。2010年からシマノラテンアメリカが主催する本イベントは、ラテンアメリカ最大級のサイクルイベントです。第12回となる2022年は過去最多の約48,000人の来場者数を記録。自転車の試乗コーナー、マウンテンバイクのショートトラックレースなどの自転車に関連する企画だけでなく、野外ライブや和太鼓パフォーマンス、環境課題についてのトークセッションなどの多岐にわたる催しで会場は盛り上がりを見せました。

### ■大会概要

- 日程：8月18日-19日 Trade Days(業界関係者のみ)  
8月20日-21日 Festival Days(一般公開)
- 入場料：無料(来場者には慈善団体に寄付するため食料品1kgの提供をお願いしています)
- 総来場者数：約48,000人(4日間累計)
- 食料品の寄付：約5トン



シマノのタグライン“Closer to Nature, Closer to People”に則り、SHIMANO FEST 2022のコミットメントとして「環境保全と社会的責任」を掲げました。イベント会場では“Protect Our Playground”をテーマにセミナーやトークセッションなどの50以上のプログラムを開催。地元企業や来場者の環境意識の醸成を目指しました。また、本イベントの自転車市場への経済効果は大きく、2022年は大手保険会社やスポーツドリンクブランドなどの協賛をいただいたことからも、自転車業界外からの関心の高まりを感じられました。



## 海外自転車イベント等

### 地元イベントのサポート [デンマーク]

- 地元クラブが主催するマウンテンバイクイベントのレースサポート 2021年スタート
- 地元クラブや地域が主催するクロスバイク大会のレースサポート 2022年スタート
- 「ツール・ド・フランス」に関連した  
国内のロードバイクイベントをサポート 2022年スタート
- 「ツール・ド・フランス」に関連した地元の様々な子どもたち向けの  
自転車フェスティバルをサポート 2022年スタート
- 地域のグラベルバイクイベントのレースサポート 2022年スタート



### 社内マウンテンバイクツーリング [デンマーク] 2019年スタート

シマノデンマークは、チームワークを促進するため、社員全員で集まり、マウンテンバイクツーリングを楽しむ交流会を開催しています。

### 自転車での来場を奨励 [イタリア] 2022年スタート

シマノイタリアは、ミラノで開催された第1回「シクロツーリズムフェア」において、参加者に車ではなく自転車での来場を促すため、会場付近にバイクパークを設置しました。「30台の車の代わりに300台の自転車」というスローガンを掲げ、普段は車専用のスペースを自転車のために使用しました。また、自転車販売店様に働きかけ、自転車で来場した人に無料の点検サービスを提供しました。



### ニュートラルサポートの提供 [トルコ] 2008年スタート

Presidential Cycling Tour of Turkeyは、多くのプロチームが世界3大ロードレースへの準備レースに位置づける大会で、トルコで最も権威のあるスポーツイベントの一つです。シマノトルコは、本大会でニュートラルサポートを行いました。



### 子ども絵画コンテスト [トルコ] 2020年スタート

シマノトルコは、「自転車」をテーマに子どもの絵画コンテストを開催しました。5歳から13歳まで、3つのカテゴリーに分かれています。優秀作品に選ばれた子どもたちには自転車を贈呈しました。



### ロードレースでのニュートラルサポート [シンガポール]

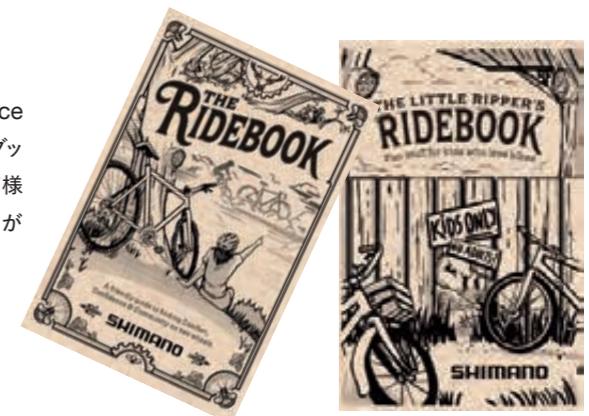
2022年スタート

10月30日、第1回ツール・ド・フランス・シンガポール・クリテリウムが開催されました。2022年ツール・ド・フランス優勝者のヨナス・ヴィンゲゴー選手、ツール・ド・フランスのステージ最多優勝記録を持つスプリンターのマーク・カヴェンディッシュ選手をはじめ、ワールドツアー8チーム32名が出場して熱戦を繰り広げました。シマノシンガポールは、選手や参加者が安心してレースを楽しめるよう、ニュートラルサポートを提供し、レースを支えました。



### The Ridebook の配布 [アメリカ]

シマノノースアメリカが発行している、自転車で“Comfort, Confidence & Community”(快適さ、自信、コミュニティ)を見つけるためのガイドブック。サイクリングの初心者や愛好家を迎える接客ツールとして、販売店様に配布。子ども向けコーナーや、自転車を楽しむための実用的なヒントが多く掲載されています。



### Project Bike Tech のサポート [アメリカ]

シマノノースアメリカは、Project Bike Techのサポートとして活動しています。Project Bike Techは、自転車教育を通じて、学問の基礎を学び、生活を向上させ、キャリアの機会を作り、新しい世代に自転車の素晴らしさを伝える活動です。



### 地元自転車レースイベント等への協賛 [スペイン] 2022年スタート

シマノイベリアは、地元Alcobendasで行われる様々な自転車関連イベントに協賛し、地域の自転車利用を促進しています。



## シマノジャパンカップ

シマノは釣具製品のみならず、釣りを楽しめる“場”的提供を目的に、1984年から「シマノジャパンカップ」を主催しています。コロナ禍で2020～21年は中止となりましたが、2022年は感染対策を施しながら、3年ぶりに開催しました。長年参加されてきた方からは、「釣り人同士の交流の場を取り戻せた」とよろこびのお声をいただきました。



また、今回よりSDGsのひとつである「海洋資源の保護」を目指すため、使用針数の制限や再放流(リリース)、そして競技時間の短縮など、魚への負担を低減する新たなルールも設けました。参加者の想いや、環境への配慮の重要性を改めて認識できた今大会。釣りブランドを代表する企業として、これからも釣り文化の発展に貢献していきます。

## 海外釣りイベント等

### Shimano Kids Fishing Clinics [オーストラリア] 2022年スタート

シマノオーストラリアがスポンサーとなり、オーストラリア全土で地元のフィッシングクラブによるキッズ・フィッシング・クリニックが開催されています。これは、子どもたちにアウトドアの楽しさと釣りの基本を教えるためのイベントで、参加した子どもたちには、シマノのギフトバッグが贈られます。2022年は10回開催しました。



### 釣りの楽しさを伝えるプロジェクト [イタリア] 2022年スタート

シマノイタリアは、若手起業家とのパートナーシップを強化し、国立公園内の観光客向けの釣りサービスやイベントを提供。また、地元の学校と協力して、子ども向けプログラムも実施しています。同時に、国立公園管理局の協力のもと、余暇としての釣りを発展させ、地域経済の活性化を図るため、釣りのルール整備や魚の産卵保護などにも取り組み始めました。



### GoProと提携 ビデオクリエイターコンテスト [中国] 2022年スタート

シマノ上海は、GoProと提携し“人と自然”的なアウトドア文化の普及に取り組んでいます。共同でビデオクリエイターコンテストを開催し、優秀な映像クリエイターによる質の高い釣りの映像をアウトドアスポーツ愛好家の皆様にご覧いただき、釣りの楽しさを体感していただきたいと考えています。

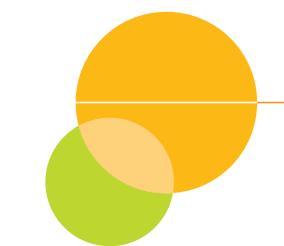


## ■ 自転車文化・釣り文化の創造

### 2. 文化発信拠点

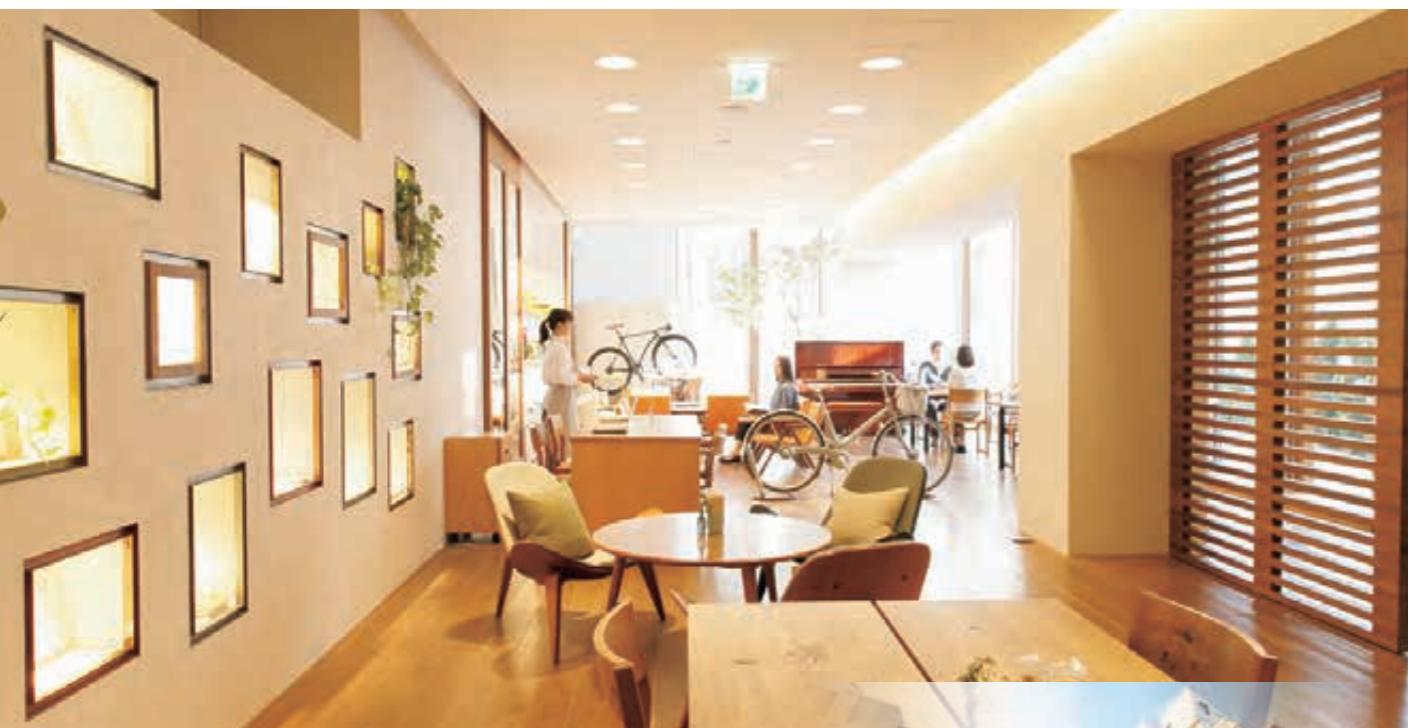
#### LIFE CREATION SPACE OVE (東京)

自転車の価値を再定義することで、豊かなサイクルライフスタイルを提案



#### SHIMANO SQUARE (大阪)

都市における「知的創造・交流の場」として上質な自転車と釣りの世界の魅力を伝える



さらなる自転車文化の発展と、普段あまり自転車に乗らない人も含めより広く自転車の楽しみを知ってもらう機会の提供を目的に2006年にオープンした「LIFE CREATION SPACE OVE」。「OVE」にはOpportunity(機会)、Value(価値)、Ease(気楽さ、容易さ)という理念とともに、人々がこれまでの自分を超えて魅力的なライフスタイルを探求する「Over Myself」という想いが込められています。店内には書籍、雑貨などのセレクトアイテムを置き、各種イベントやセミナーも実施。新しい自転車文化の創造を目指しています。

2022年も様々なテーマで、自転車で散歩するように価値あるモノ・コトをめぐり、その場所、その時間ならではの出会いや発見を楽しむ「散走」イベントを実施。さらに、「自転車のある生活」をこれから始めたい方やさらに深めたい方に向けて、自転車の基本的なメンテナンスなどをお伝えする「OVEのがっこう」も多数実施しました。



2017年にオープンした「SHIMANO SQUARE」。大阪市北区のグランフロント大阪・ナレッジキャピタルという多くの人が行き交う環境を活かし、自転車・釣りを通じたライフスタイルを提案するとともに、シマノが創造する文化的価値や製品の魅力を伝えることを目指しています。カフェやブックライブラリー、自転車・釣りの製品展示を行っています。また講習会や各種ワークショップ、「散走」などのサイクリングイベントを開催しています。2022年は、製品の美しさをより視覚的・直感的にご理解いただけるよう工夫し、店内展示をリニューアルしました。さらに、散走と釣りを同時に楽しんでいただくRIDE & FISHイベントにも注力し、キャンプとも絡めたアウトドアスポーツの楽しみ方を提案しました。



## SHIMANO EXPERIENCE CENTER (オランダ)

### 自転車・釣り・ロウイングの楽しさをより多くの人に

ドイツ・ベルギーとの国境に近いオランダ南部の街、ファルケンブルグ。自転車のプロロードレースの開催地としてもサイクリストに有名なこの街に、2019年オープンしたのが「SHIMANO EXPERIENCE CENTER」。

施設内は自転車部品、釣具、ロウイングと、シマノの事業領域全てを集約。豊富な展示とバーチャルディスプレイやシミュレーターを備え、牧歌的で美しい周辺環境の中、実体験を通じてシマノ製品に直接触れ、最新の技術を体験できる場を提供します。ラウンジやワーキングショッピングエリアでは、ビジネス関係者や地域の学校、サイクリングクラブなどの団体にイベントを行う機会を提供するとともに、子ども向けの様々なイベントを主催。

多くの人々に自転車、釣り、ロウイングの楽しさを訴求し、訪れるたびに新たな発見や体験を提供し続ける場所を目指しています。



## SHIMANO CYCLING WORLD (シンガポール)

### 東南アジアにおける自転車文化の発展と シマノブランドの浸透に向けて

シンガポール中心部にあるアジア最大級のスポーツ複合施設 Singapore Sports Hub 内に2014年にオープンした「SHIMANO CYCLING WORLD」。

自転車をテーマとした広さ約 650m<sup>2</sup>の体験型展示施設で、シンガポールにおける自転車文化の発展と、ライフスタイルとしての自転車利用の推進、さらには東南アジアにおけるシマノブランドの浸透を目的に、人々が自転車をより身近に感じ、新しいライフスタイルを実現できるよう様々な提案を行っています。

2022年は仮想プラットフォーム「Zwift」を利用したサイクリングイベントや、自転車で様々な史跡を巡り、シンガポールの歴史に触れるツアーなど、多彩な企画を実施しました。



## シマノ自転車博物館 (大阪)

### 豊かな自転車文化の継承と創造を目指して

「自転車博物館サイクルセンター」は、(公財)シマノ・サイクル開発センターが1992年4月に大阪府堺市で開館した日本で唯一の登録自転車専門博物館です。2022年3月、堺市大仙公園内から南海電鉄堺東駅近辺に移転し、「シマノ自転車博物館」として新しくオープンしました。

「ここへ来れば、だれもが自転車に乗りたくなる」をコンセプトに、多様な視点から自転車の魅力を発信し、自転車の真価の発見と自転車に乗りたくなるような気持ちの創出を目指します。一般のお客様だけではなく、地域の小学校の校外学習なども積極的に受け入れており、2022年も多くの児童が来場し学びを深めました。

毎年小学生を対象に実施している「夏休みこども絵画コンクール」では、自転車にまつわるテーマの絵画を募集。2022年も33,271点という多くの応募をいただき、その中から入選作品を表彰し博物館内に展示して多くの方に見ていただきました。



2022年3月に開館した「シマノ自転車博物館」

## ■ 自転車文化・釣り文化の創造

### 3.その他文化創造活動

#### 第5回「ソーシャル×散走」企画コンテストの実施

エコな乗り物である自転車で、地域の魅力やストーリーを楽しむ散走は人や地球に優しい暮らしにも通じています。シマノは社会課題の解決に関心の高い学生を対象として、“環境・交流・健康”をテーマに持続可能な地域社会を育む散走企画を募集し、優秀作品を表彰する「ソーシャル×散走企画コンテスト」を実施しました。今年は過去最多の40チーム144名の参加があり、レベルの高いコンテストになりました。その中から特に優れた6チームを選び出し、11月にシマノ自転車博物館（大阪府堺市）にて最終審査会を開催し、大賞・特別賞チームを表彰しました。



#### グッゲンハイム美術館 ビルバオ展示支援基金への寄付

2022年4月から9月まで、スペイン・ビルバオのグッゲンハイム美術館において、世界を代表する建築家ノーマン・フォスター卿が企画・展示を行う「Motion. Autos, Art, Architecture」展が開催されました。その中の「The Future」室では、世界から15大学が招かれ、未来をテーマに展示が行われました。

シマノは、東京大学工学系研究科建築学専攻の千葉学教授が、展示作品の製作費と同展に参加する学生の渡航費支援のために立ち上げた「グッゲンハイム美術館ビルバオ展示支援基金」に寄付を行いました。

東京大学は千葉研究室を中心となり、モビリティ革新の時代における未來の都市像を、「東京計画2021」として展示しました。この展示は、モビリティの変革、コロナの世界的な感染拡大を受け、新たな都市の移動、働き方、住まい方を探るべく企画されたものです。

シマノは、クリーンエネルギーで心身の健康にも貢献できる自転車を活用し、多様なモビリティが共存するまちづくりを行うことで、人と自然が共生する暮らしを実現できると考えています。



#### シマノレーシング

シマノレーシングは、1973年の創設以来、日本チャンピオンや五輪代表選手を輩出している自転車競技チームです。トレーニングや実戦での評価を製品開発にフィードバックするという、テ스트ライダーとしての重要な役割も担ってきました。現在はその役割に加え、国内レースシリーズの発展支援やファンに向けた情報発信、初心者や子ども向けの自転車教室など、長期的かつ広い視野を備えたサイクルスポーツ文化の創造を目指し、活動しています。



シマノレーシングの選手たちによる  
堺市の小学生向け自転車教室



# ■ 自転車文化・釣り文化の創造

## 4. 文化発信メディア

### 自転車と健康

#### 『Cyclingood』『MIND SWITCH』

##### 自転車と一緒につくる、 健康的で豊かな暮らしの提案

自転車運動によるエネルギー代謝や筋力の維持・増強、そしてメンタルとの関係性など、幅広いテーマについて大学や研究機関と共同で実施してきた研究の成果を、企業や自治体に共有することを通じて、人々の健康づくりに貢献しています。

こうした社会的アプローチの一方、自転車を取り扱う店舗や健康に関心のある施設、ユーザー様に向か、自転車と健康の関わりを中心とした情報媒体『Cyclingood』(サイクリングッド) のフリーペーパーとウェブサイトを開設。このウェブサイト内では、研究結果を分かりやすく表現した「Health Data File」を紹介し、自治体や企業様に、自転車まちづくりや、住民・社員の健康づくりなどのためにご活用いただいています。

その他にも、自転車通勤に役立つあらゆる情報をまとめ、「通勤サイクリング」を提案するウェブサイト『MIND SWITCH』(マイドスイッチ) を運営しています。

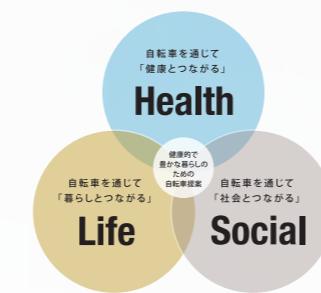
持続可能な社会を目指す上で、「健康」はさらに重要性を増しています。シマノはこれからも、自転車の魅力や価値を多くの人に伝えることにより暮らしを豊かにする取り組みを通じ、業界や社会の発展に貢献していきます。



『MIND SWITCH』

年4回発行している  
『Cyclingood』

『Cyclingood』



自転車運動による効果をデータを用いて解説

東北	岩手県	道北健康促進推進課
関東	宮城県仙台市	市民生活安全安心部 自転車交通安全課
関東	茨城県水戸市	企画部 政策企画課
関東	神奈川県横浜市	道路施設部 交通安全・自転車部課
関東	埼玉県さいたま市	建設課 放送・自転車利便性推進課
中部	新潟県	土木部 道路整備課
中部	石川県金沢市	都市政策部 まちの環境課
関西	滋賀県	道北健康促進推進課
関西	静岡県小山町	経済産業部 環工課出張

「Health Data File」の自治体での活用事例を  
『Cyclingood』ウェブサイトで紹介



年4回発行している  
『Cyclingood』

『Cyclingood』

### 釣りの魅力発信

#### 『Fishing Café』『釣り百景』『おとな釣り俱楽部』『SHIMANO TV』

シマノは時代とともに進化し、発展してきた“文化としての釣り”的楽しみを、より多くの人々に紹介する活動を大切にしています。国内におけるその活動の一つが、クロスマediaによる情報発信やコラボレーションであり、これらは釣り文化の創造を図り、釣り業界の振興と発展を目指した継続的な取り組みです。

### 『Fishing Café』

釣りを愛する全ての人が、気ままに集ってお茶でも飲みながら釣りについて語り合うことができれば…という想いから始まった『Fishing Café』。新しい釣り文化の創造を目指して、文化的・社会的視点から釣りの楽しさや魅力を伝えています。マガジンから始まった『Fishing Café』は現在、ウェブサイト、YouTube動画、ラジオ放送と媒体を拡げ、釣り文化を発信し続けています。



年3回発行している  
Fishing Café マガジン



釣り紀行番組『釣り百景』



『おとな釣り俱楽部』YouTubeによる動画配信



YouTube SHIMANO TV 公式チャンネル

### 『おとな釣り俱楽部』

釣りを中心とした余暇の過ごし方を提案し、人生をより豊かにすることを目的にしたシニア世代向けプロジェクト。TV番組をはじめ、YouTubeによる動画配信も展開しています。

### 『SHIMANO TV』

シマノのYouTubeチャンネル『SHIMANO TV』は、多彩な釣り動画を24時間365日お楽しみいただけます。2022年11月末時点のチャンネル登録者数は約43万人。新製品に関する動画だけではなく、初心者向けの釣り教室や、釣りと自然を愛するインストラクターによる対談など、釣り文化を伝えるコンテンツも好評をいただいている。

## ■躍動する人材

### 1. 社内大学プロジェクト

#### 「SHIMANO CAMPUS」始動

社員が学びたい時に自発的に訪れ、興味のある科目を自ら選択して学ぶことができる社内大学「SHIMANO CAMPUS」を2022年3月にオープンしました。シマノ社員として、社会人として、そして仕事のプロとしての知識や実践知を高めていくための学びを提供しています。

キーワードは「知」の創造。SHIMANO CAMPUSは新しい知識との遭遇の場、知識の実践・実体験の場、社員同士がつながり合うことで新たな知の創造を促すことを目的としています。バーチャル(web)×リアルのハイブリッドで運営しています。リアルのSHIMANO CAMPUSは本社建物の一角にあります。



SHIMANO CAMPUS (web)

#### 学びのコンテンツ

業務の専門知識を学ぶ「Innovation学部」と、一般教養の「Team Shimano学部」の2学部があり、それぞれに学科を設置。Innovation学部には生産技術学科、品質保証学科など部署ごとに特化した教育コンテンツを取り揃えています。Team Shimano学部には、シマノ社員として必要なこころざしやDNAを高める「Philosophy学科」と、社会人としての教養を深める「リベラルアーツ学科」があります。社員はweb上で様々な学科のコンテンツにアクセスできるだけでなく、リアルの場で行われる講座やセッションに就業時間内で参加することができます。





## SHIMANO CAMPUS の4つの機能

### <ライブラリー>

社内図書館の書籍をwebから貸出申請・書籍購入リクエストが可能。若手社員と管理職おすすめの書籍など、幅広いジャンルの書籍を700冊以上取り揃えています。またweb上では、シマノに関する歴史や理念のコンテンツや業務に関する専用知識や幅広い知識を得るリベラルアーツを学べるコンテンツにアクセスできます。

### <オーディトリアム>

シマノの歴史を伝える動画の上映会とともにその当時を知る社員の解説を聴くセッションや、自転車・釣り・リベラルアーツへの理解を深めるセミナーを実施しています。



### <ひろば>

社員が質問などを自由に投稿できる場をweb上に設けています。質問に対応できる社員を紹介して、「人と人」をつなげる役割もあります。

### <フィールド>

事業領域である自転車・釣り・ロウイングの世界への理解を深めるため、製品をつくる現場・売られる現場・使われる現場で<フィールド>体験するプログラムを用意しています。

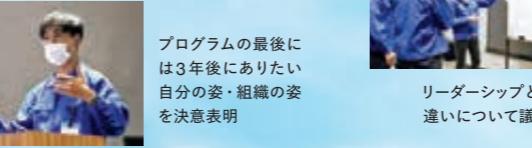
SHIMANO CAMPUSはこれからも社員の声を集めながら内容の充実・改善を行い、時代に合わせて変化を続ける「完成」することのない学びのプラットフォームを目指します。今後は海外拠点への展開も予定しています。



会長との座談会



文化発信拠点シマノスクエアを訪問



プログラムの最後には3年後にはありたい自分の姿・組織の姿を決意表明



リーダーシップとマネジメントの違いについて議論を交わします



## 2.Learning Team Shimano Program

### 海外拠点向け次世代リーダー研修

シマノ創業の地である堺で、チームシマノの理念やシマノの歴史、会社が目指す方向性について理解を深め、グローバルリーダーとしてのマネジメント力を養うことを目的に2015年から実施してきました。コロナ禍で休止していましたが、3年ぶりに海外の次世代リーダー候補5名を対象に開催しました。

約1週間にわたる研修のテーマは、①Shimano DNA/スピリットの浸透②シマノのものづくりの企業姿勢である「開発型デジタル製造業」の理解醸成 ③組織を束ねるリーダーとしての「組織の視点の強化」の大きく3つです。海外からの参加メンバーは、会長・社長との座談会や工場見学、大阪市内の文化発信拠点シマノスクエアの見学など、本社でしかできない様々なコンテンツを体験。チームシマノとしての理念の浸透とシマノ流のリーダー像を考える研修を通して、参加者は創業の地で得た気づきをそれぞれの部門に持ち帰り、組織に還元することを決意しました。

今後もこのような研修を継続し、海外拠点の次世代リーダーの学びの機会を設け、価値創造企業としての成長に繋げていきたいと考えています。

### 新入社員研修プログラム【マレーシア】

シマノマレーシアは、新入社員に対し、2日間の研修プログラムを実施しています。このプログラムでは、講義、ディスカッションなどを通じて、チームシマノの精神である「和して厳しく」に込められたシマノスピリットを学びます。

### シマノ100周年記念資料の活用プログラム【台湾】

2022年スタート

シマノ台湾は、チームシマノ・スピリットを高めるため、シマノの創業100周年(2021年)記念コンテンツを活用し、シマノの歴史、製品、DNAをより深く理解できるよう、歴史や人物から重要な出来事、節目となる製品、キーポイントを社員に共有するプログラムを毎月実施しています。

### Strong Team Shimano プログラム【オランダ】

2019年スタート

シマノヨーロッパは、「Strong Team Shimanoプログラム」を実施しています。これは、活力ある社員を通じて組織力を強化することを目的としています。このプログラムは、「アクティブであること」「学び続けること」「つながること」「与えること」「気づき続けること」という5つの柱から構成されています。この5つに基づき、サイクリング、清掃活動、ウェビナー、心身の健康診断、ファミリーパーティーなど、様々なイベントが開催されています。

## ■ 地域社会への貢献

### 〈国内の活動〉

#### 団体献血 [日本]

シマノ本社は、2022年も日本赤十字社のご協力のもと、6月と11月に団体献血を行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、血液不足に陥っている中、延べ128名の社員が献血に協力しました。



#### ツール・ド・東北のテクニカルサポート [日本] 2013年スタート

シマノセールスは、東北震災復興支援として、サイクリングイベント「ツール・ド・東北」に、テクニカルパートナーとして協力を続けています。会場でのメカニックサポート、およびコース巡回のサポートカーで、参加者が安全・安心にサイクリングを満喫していただけるようにサポートしています。



### 〈海外の活動〉

#### 献血活動 [インドネシア] 2017年スタート

シマノバタムは、地域社会への貢献の一環として、献血イベントを開催しています。インドネシア赤十字社およびTzu Chi Indonesia財団と協力し、7月に献血イベントを開催し、200人以上の社員が献血に協力しました。



#### Royal Fishing Kinderhilfeの支援 [ドイツ] 1999年スタート

シマノドイツは、恵まれない子どもたちのためのチャリティ釣りイベント「Royal Fishing Kinderhilfe」を、スポーツ界、メディア、経済界の著名人が務めるアンバサダーと共に支援しています。



#### 病院にベッドの寄付 [インドネシア] 2022年スタート

シマノバタムは、医療関係者がより多くの人を看護できるよう、バタム島内の2つの病院に、8台のベッドを寄贈しました。



#### COVID-19 対策支援 [マレーシア] 2021年スタート

シマノマレーシアは、社員、顧客、地域、社会全体といった重要なステークホルダーを支援するため、検査キット、マスク、除菌剤などの必需品を地域や学校、近隣の住民に提供しました。



#### 孤児院の訪問とお米の寄付 [カンボジア] 2014年スタート

シマノカンボジアは、地元の孤児院に毎月1トンのお米を寄付しています。また、クメール正月とPchum Benの祝日には必ず孤児院を訪問し、子どもたちと一緒に祝いています。



### 地元の中学校への支援 [チェコ] 2022年スタート

シマノチェコは、中学校の校舎に車椅子用の通路を作るための資金を寄付しました。

### 子どもたちの支援活動 [ポーランド] 2022年スタート

シマノポーランドは、2つのチャリティーイベントに参加しました。1つ目は、障がいのある児童の教育センターと学校のための第12回「スペシャルオリンピック（サイクリング）」です。社員は、レース開始前に自転車の点検・修理を行い、技術的なサポートを提供。また、参加者全員にシマノのロゴ入りグッズをプレゼントしました。2つ目は、Owińskaにある特別支援学校と教育センターの支援です。目に疾患がある子どもたちのリハビリに必要なタンデム自転車が特に注目を集めました。また、子どもたちのために9台の新しい自転車を提供しました。



### 自転車空気入れステーションの運営 [シンガポール]

2015年スタート

2022年は交通安全公園の一般開放に伴い、シマノシンガポールが設置した自転車空気入れステーションを訪れるサイクリストが増えました。週末には大人から子どもまで、多くの方が利用されています。シマノシンガポールは、このステーションを継続的にメンテナンスし、周辺地域の清掃を行っています。



### JINC（職業訓練・支援プログラム）[オランダ]

2021年スタート

シマノヨーロッパは、子どもたちの将来のキャリアが育った環境で左右されないよう活動する、JINCというプログラムを支援しています。



### 孤児院への支援 [ブラジル] 2010年スタート

シマノラテンアメリカは、子どもたちにマウンテンバイクの楽しさを伝えるプログラムを実施している地元の孤児院を長年サポートしており、食料の寄付も行っています。

### 自転車整備士の育成支援 [オランダ] 2014年スタート

bikefitting.comは、教育機関に無償でライセンスを提供し、未来の自転車整備士がシマノの理念に基づいたバイクフィッティングやバイクジオメトリーに関する教育を受けられるようにしています。

### オーシャン・クリーンナップ基金への寄付 [オランダ] 2021年スタート

シマノヨーロッパは、オーシャン・クリーンナップ基金への寄付を行いました。オーシャン・クリーンナップは、海からプラスチックを取り除くための高度な技術を開発している非営利団体です。



## シマノトリコロール報告書を読んで



藤江 俊彦

千葉商科大学名誉教授  
(一社)日本経営管理協会 会長  
(一社)日本経営管理学会 代表理事・副会長

2022年は新型コロナウイルス感染も収束に向かい始め、経済社会も本来の動きが見られようになった。だがロシアによるウクライナ侵攻で、エネルギー資源や原材料などのロジスティクスが影響を受け、物価高によるインフレをもたらした。先進諸国では金融引き締めが進み、為替相場が変動している。グローバル市場でビジネスを展開するシマノにとっては厳しい状況ではあるが、その中でSDGs(持続的開発目標)を掲げた活動を『シマノトリコロール報告書』としてまとめた。

従来の『社会活動報告書』から一步進めてシマノのドメイン(事業領域)を「大地・空・海」の3色ラインとして表現し、サステナブルな活動をトリコロールのネーミングで試みる例を見ず、SDGsへの熱意が感じられる。

今回の報告書は2つの大きなコンセプトによって構成している。まず第I部「持続可能な世界への貢献」では、SDGsを「働きがいも経済成長も」「つくる責任つかう責任」「気候変動に具体的な対策を」という3つの重点目標で取り組んだ。

フェーズ1の「健やかに働く職場づくり」では、経営課題として「人的資本」が強調されている。近年の人手不足は深刻だが、シマノは人材育成を世界各地の拠点で実践しており独創的な報告が見られる。例えば英国ではメンバー同士が有益に交流できるトレーニングや、米国では社員が他部署で働くためのスキルを身につけるプログラムがあり社員価値を高めている。中国昆山では永年勤続者に褒賞を授与して定着率の向上を図っている。米国の大学にはインターンシップ・プログラムを提供、会社訪問や工場見学などで学生の関心や親しみをつくり人材候補を呼び込む活動となっているようだ。

労働安全衛生について本社工場では作業要領書を作成し、これに則った教育で安全意識の醸成を図っており実効性ある取り

組みと言えよう。ワーク・ライフ・バランスの実現に向けての時差勤務の拡充、1時間単位の年次有給休暇制度や在宅勤務制度の導入は社員への心配りが見られる。また取引先との「ベンダー行動規範」を改訂、約96%から当規範遵守の合意書を取得しモニタリング態勢も進めており、人権への配慮を知ることができる。インドネシアでは安全委員会等のトレーニング、火災、重大事故、自然災害等への避難訓練を開催している。多発傾向にある危機的事態への備えや訓練の重要性は増しており、他の事業所でも地域と事態に応じた危機管理と対応訓練が求められる。

フェーズ2の「開発型デジタル製造業として」は発明初期段階から開発と知的財産部門が連携して成果をあげている。世界的権威のあるClarivate社の「Top 100グローバル・イノベーター2022」アワードを受賞したことはこの分野での誠実な姿勢への評価である。バイクユーザーに快適さを提供する電動変速システム、手への負担を減らすレバー、釣具では「巻く」「投げる」で感性に訴えるスピニングリールなど、ユーザーにとって便利さを増す開発は目を見張る。シマノは「開発型デジタル製造業」になるべく、知識を集約して改革し、可能な限りのデジタル化、効率化でのづくりのスピードを速め、空いた時間は五感に訴える魅力ある製品提供を目指している。そのためSDA(Shimano Digital Administration)推進本部を発足、サポート部門一丸となっているのは実効性確保の体制として注目される。2022年シンガポールに新しい工場を設立した。フラットな建物、地下に製造で排出されたチップ自動回収設備、生産とエネルギーの管理を可視化するIoT、全照明のLED化で消費電力を削減するなど、SDGs最先端の工場と言ってよいだろう。

フェーズ3の「地球環境への積極的な取り組み」はCO<sub>2</sub>排出量把握と気候変動への対応である。化石燃料から電気設備への切り替えや再生可能エネルギー由来電力の導入等によりCO<sub>2</sub>排出量は国内外で削減を進めており評価できる。オーストラリアや台湾では植樹の支援、シマノセールス(日本)では冷暖房の空調機器管理など、地道な省エネ活動の継続を期待したい。使い捨てプラスチックは地球環境の大きな問題である。樹脂パレット・コンテナ・ストレッчフィルム等の使用後リサイクルを進め、本社では不要樹脂パレットをリユース品として近隣業者へ有価物として引き取ってもらい廃棄量を削減している。資源の循環利用として有効かつ有益である。ホイルパッケージでもプラスチック製輸送用ポリ袋から段ボール形状へ変更して最適化に成功した。パレット積載量の向上や梱包リードタイム削減も実現、二重三重のメリットを生んでおり、あくなき工夫努力は評価に値する。自動車のエアバッグからマウンテンバイク用ショーツをつくり世界的デザイン賞を受賞したのは付加価値的成果だろう。

本社工場では2012年から鋼材熱処理工程で電熱式真空浸炭炉を導入、ガス浸炭炉より大幅に生産効率を向上させた。下関工場、シンガポールなどの海外工場でも展開している。国内製造拠点では99%再生可能エネルギー由来電力で賄えるようになり、カーボンマイナスへの効果をあげている。2004年以来、環境や健康への負荷が低い製品づくりの指針として、「シマノグリーンプラン(SGP)」を策定、協力会社と協働して遵守し、年々厳しくなる国内外の法規制や顧客の要求に応じて改訂してきた。今後も変化に応じた対応と適用を実践し、信頼される製品をつくってもらいたい。

環境や健康に良いとされる自転車通勤は本社社員の約4割が通勤登録をしていて、厚生棟には駐輪場・浴場・シャワーブースが完備され、ヘルメット着用者には手当も支給されている。国交省の「自転車通勤推進企業」の「宣言企業」と認定され、さらに「優良企業」にも認定された。まさに自転車文化の率先垂範企業と言えよう。

第II部は「企業文化の醸成」と題して3つのフェーズで報告した。「自転車文化・釣り文化の創造」では「こころ躍る製品」をエンジョイしてもらう場の提供などである。各種自転車競技、とりわけA.S.O.主催レースではニュートラルサポートパートナーとしてレース中のトラブル対応など、ブランドへの信頼を醸成している。鈴鹿サーキットで8月初心者から上級者まで楽しめる「ロードレースの祭典」を開催、オンラインで参加できる「バーチャルシマノ鈴鹿ロード」も実施、海外からの参加者もあり幅広く機会を与えた。JCF公認レース「シマノ鈴鹿ロードレースクラシック」、富士見パノラマでのマウンテンバイクの祭典「シマノ・バイカーズフェスティバル」は熱戦と共に新製品広報の場ともなっている。ブラジルでは南米最大級の自転車祭典を開催、試乗、短距離レース、環境課題のトークなどの催しで環境意識の醸成に貢献している。欧州では地元クラブでのレースサポート、「ツール・ド・フランス」関連イベントやロードレースでのニュートラルサポートなど、地域もグローバルで提供内容も多様で意義深い。釣りイベントでは「シマノジャパンカップ」を3年ぶりに開催した。オーストラリアやイタリアで子ども向けイベントを実施、釣り

や釣具を通してSDGsの海との関わりを深めていると解釈できよう。

フェーズ2では「自転車文化・釣り文化の創造」として文化施設をつくり情報発信している。東京は「OVE」で自転車のあるライフスタイルを提案、大阪でも「シマノスクエア」で自転車・釣りのギャラリー、イベントなど、堺市で日本唯一の登録自転車専門博物館を新たに移転オープン、体験型空間での訴求は迫力あり有意義なものと言える。オランダ、シンガポールでも展示とシマノ製品に触れる場をつくり、文化活動での新しい価値創造をしている。

フェーズ3では「その他文化創造活動」として“散走”の企画コンテスト、グッゲンハイム美術館ビルバオでの展示支援基金への寄付、五輪代表選手を輩出するシマノレーシングチームの活動があり、自転車文化浸透への寄与である。「文化発信メディア」では自転車や釣具と健康を中心に活字とwebで発信している。「躍動する人材」では「SHIMANO CAMPUS」が始動した。社員としてプロの知識と実践知を高める学びを提供する。社員同士がつながり合うことも目的で、リアルとwebで運営される。リアル講座には就業時間内で参加でき柔軟な取り組みと言えよう。「地域社会の貢献」では、海外各地で病院ベッドの寄付、献血、コロナ対策支援等がある。今後国内でも医療や感染症対策への支援をさらに検討してもらいたい。

本報告書では国内外でのSDGsや文化に関わる活動が、限られたスペースにかなり細かく紹介されている。特に今回はシマノのコーポレートブランドのロゴである3色の「トリコロール」を掲げてまとめられているので、ドメイン(事業領域)や存在意義を包括的イメージとして受け取ることができた。これだけの社会的活動で貢献するシマノはパーカス・プランディングすることを薦めたい。つまり自社の存在意義をストーリーとして発信し、共感する人々が好意的、主体的に協力・行動してくれるようデザインすることで、トリコロールの活動がシマノブランドと融合し、一体化することを期待したい。



# 株式会社シマノ

## 「価値創造企業」を目指して

人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。

シマノはこの使命のもと、つねに先進技術を駆使しながら、本当に信頼されるものづくりに取り組んでいます。

これからも開発型デジタル製造業として「こころ躍る製品」をお届けすることを通じて、

自転車文化、釣り文化の創造に貢献する企業として着実に歩んでいきます。

### 会社概要

社名	株式会社シマノ
英文社名	SHIMANO INC.
本社住所	〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地
連絡先	総務管理部 TEL: 072-223-3210 企业文化コミュニケーション部 広報課 TEL: 072-223-3957
URL	<a href="http://www.shimano.com">www.shimano.com</a>
創業	1921年2月(大正10年)
設立	1940年1月(昭和15年)
資本金	356億円
上場取引所	東証プライム市場
社員数	1,620人(単体) 11,364人(連結) (2022年12月31日現在)
主な事業	自転車部品、釣具、 ロウイング関連用品等の開発・製造・販売
連結子会社	48社(2022年12月31日現在)



Closer to Nature,  
Closer to People



株式会社シマノ  
〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地  
企業文化コミュニケーション部 広報課  
Phone : 072-223-3957  
Fax : 072-223-6045